

【ファブリー病とは】

ファブリー病は遺伝性の糖脂質代謝異常症です。ライソゾーム(リソソーム)に存在する加水分解酵素の一種、 α -ガラクトシダーゼの活性が低下し、糖脂質のセラミドトリヘキソシド(CTH)が分解されずに全身の臓器や組織に蓄積することにより、多彩な臨床症状を示します。これらの症状がすべて現れるとは限りませんが、ファブリー病の早期発見および適切な治療により、患者さんの予後を改善することができます。

【このような患者さんはいませんか？】

ファブリー病は、全身の臓器に多彩な臨床症状が現れる疾患です。原因不明のその症状、もしかするとファブリー病かもしれません。



【特別講演のご紹介】

演者：熊本大学大学院生命科学研究部 小児科学分野 准教授 中村 公俊 先生
演題：『ファブリー病の早期診断と治療』